

校長室だより

令和5年10月10日

「思う存分」やりきった体育大会

10月3日(火)に実施した体育大会。残暑が続いた前の週までとは違って、とても過ごしやすい、さわやかな秋晴れの1日となりました。

約2週間にわたる学年種目・長縄跳び・全員リレーの練習の中で、特に長縄は、まずはやってみるところから始まり、何度も足が引っ掛かり、2・3年生でも苦戦していました。しかし、皆さんのみごとなスキルアップにより、やがて「せーのっ」の声一つで息がぴったり合うようになっていました。

応援合戦も、当初は手探り状態でしたが、見る人を引きつけるパフォーマンスの工夫をクラスで相談するうちに、練習にも熱が入ってきましたね。大会前日の練習時には、全員で心をついにしようと奮闘している大きなかけ声を、校内のあちらこちらから聞かされたときに胸が熱くなりました。

大会当日は、4年ぶりに全学年のご家族の方が見守る中、個人種目はもちろん、学年種目・長縄跳び・長縄跳びでは、一つ一つの競技を励まし合いながら、スローガンにもある「思う存分やり切ろう」という姿勢で仲間と共に取り組む姿が見られました。午後の応援合戦は、動きも小道具もアイデア満載で、2分という限られた時間の「無限の可能性」をいろいろな形で披露してくれました。どのクラスも本当に素晴らしい演技でした。

この大会で味わった達成感やそのことで得た大きな自信は、次のステップで必ず味方になってくれます。いっしょに心の糧にしていきましょう。 ※学校 HP「学校生活の様子」に行事の様子を掲載しています。



寒露(かんろ) 今年は10月8日～10月23日ごろ

「寒露」とは、草花に降りる冷たい露のことです。夜が長くなり、露が冷たく感じられるころ、空気が澄んだ秋晴れの過ごしやすい日が多くなります。この時期、山野では紅葉が始まり、コスモスなどの秋の草花も見ごろとなります。

ようやく夏の疲れが取れて、食欲の秋の到来とも言えます。様々な食材が収穫の時期を迎え、新米を始め、栗・きのこ・秋サケ・サンマ・柿・にんじん・れんこんなどが旬となり、秋の味覚が味わえます。ここで一句、紹介します。

【●響(ひび)きさわやか いただきます という言葉 中村草田男 作】(意味:なんとさわやかな響きでしょう。元気いっぱい「いただきます」というあいさつは、さわやかな秋がいつそうさわやかに感じられるなあ。)

そして、この時期、夜になれば、時間を忘れそうになるほど美しい秋虫の鳴き声、輝く月や星。秋の澄み渡った空気は、見るもの、聞くものをクリアにしてくれます。さらに一句紹介します。

【●名月や 池を巡(めぐ)りて 夜もすがら 松尾芭蕉 作】(意味:池の水面に映る名月に感動し、池のほとりをひたすら歩き続けていたら、いつの間にか夜が明けてしまったよ。)

こんなふうには、有名な俳人たちが様々な晩秋を楽しんでいたんですね。

保護者の皆さまへ

平素は本校教育にご協力・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

先日開催した体育大会では、ご来校・ご観覧いただき感謝申し上げます。保護者の皆様の温かい応援・拍手に包まれ、生徒たちは、競技や演技など情熱あふれるパフォーマンスを見せてくれました。

おかげさまで明日10月11日をもって、本校は創立43周年を迎えることができます。今後も、生徒職員一丸となって、教育活動に取り組んでまいります。引き続き、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

